

神奈川県議会議員選挙選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

誰もが暮らしやすく、 人なやさいい神奈川へ!

女性の視点を県政に!

子どもたちの未来、そして、女性を守る!

幼児保育無償化の所得制限撤廃と、高校までの教育費無償化
子育て家庭を孤立させない地域ぐるみの子育てサポート体制の充実
共に働き子を育くむコヘアレンティング(夫婦共同育児)の浸透

高齢者・障がい者にも暮らしやすい町づくり!

就労希望のシニア世代が、引き続き社会で活躍できる場の醸成
バリアフリーな社会をめざし、生活者優先の町づくり
医療・介護・生活支援の一体化、「地域包括ケアシステム」の拡充

防災・減災の地域づくり!

災害時の正確な情報により的確な行動がとれるよう防災基盤を強化
消防団などの自主防災組織が機能するよう、体制や資機材の整備
地域住民が支え合い・助け合える地域コミュニティの強化

暮らしを守る! 地域経済を守る!

中小・地場企業への支援を進め、雇用の場の確保で生活向上
生活拠点から駅へのアクセス向上に努め、生活者ニーズに対応
医療・教育などの多様な人材育成を進め、地域経済発展基盤の構築

農業のこれからを守る! 自然を守る!

「道の駅」などの新たな商圏をつくり、地産・地消を促進
新テクノロジーを活用など、都市近郊型農業の可能性を追究
ゴミを「作らない」「出さない」、環境にやさしい町づくりを推進

【後藤やよいプロフィール】1966年2月、横浜市戸塚区に生まれる。横浜市立小雀小学校卒業。鎌倉女子大学中等部・高等部そして大学(家政学部児童学科)を卒業する。卒業後は父である元衆議院議員田中慶秋(けいしゅう)事務所に入所をして、4年間に渡り秘書を務める。1992年に日立電子サービス株式会社(現・株式会社日立システムズ)に入社し、28年間民間企業に勤務する。現在は神奈川県議会副議長 そがべ久美子の秘書として政務にあたりながら、神奈川県政にチャレンジする。



後藤やよい

国民民主党公認

私はまもります みんなの大切なもの!

神奈川県は日本の縮図です、そこにある課題
難題は多岐にわたり、対応は待ったなしです。
政治はそれらに真っ向から挑戦し、先送りを
せず正しい対応・対策をする重責があります。
ふるさと神奈川・戸塚での持続可能な社会
の実現のために、私は愚直に大切なものを
まもる政治を行って参ります。

暮らし・命を守ります

安定した暮らしづくりのため、雇用促進、中小企業、
地場産業振興、デジタル化対応など県政あげて成長
経済政策を実現します。
子供たちの健全な発育環境、子育て支援、県民の
健康寿命の延長、医療体制の充実、お年寄りへの
福祉政策などで幅広く命を守ります。

生活文化・伝統を護ります

伝統行事・文化事業、幅広いスポーツ、SDGs、地域
交流・振興、地産地消などの政策を積極的に推進し
「ふるさと神奈川」をより元気にしていきます。
いじめ、貧困、発達障害などに、公正で思いやりのある
行政を提供します。

安全・安心な環境を衛ります

自然災害、感染症、社会不安、テロや国の安全保障
にかかる不測の事態にしっかりと対応できる、安心・
安全な社会のため、戸塚区の代表として県政の立場
から現代の防人(さきもり)ともなります。

守ることは挑戦することでもあります、松田良昭
は信頼と実績と経験をもとに、これからも元気に
進んで参ります。ひとりでも多くの人々の笑顔の時
を願って、私はこの公約をまもります。

憲法改正! 拉致被害者奪還!

- 平成19年 神奈川県議会第100代議長
- 平成20年 自民党神奈川県連副会長
- ◎趣味: 武道・読書・書画
- 神奈川県児童福祉審議会委員長
- 日本会議全国地方議員連盟会長
- 横浜市戸塚区スポーツ協会会長



松田よしあき

良昭

次の世代にツケを回さない

予算のムダ使いを減らし 市民の声を県政に届けます!

すべての子どもたちのために!

- 子育ての負担軽減、出産にかかる費用、高校・大学等の授業料無償化をめざす
- 困難な環境の子どもを支える(児童虐待防止への取組み、児童相談所への支援強化)
- 障がいのある子どもを包摂する社会の実現(多様性を認める教育、居場所づくり)
- 医療・福祉・介護の労働環境改善(専門学校支援・人材育成支援・賃金アップ)
- 持続可能な公共インフラ整備(先端研究開発支援及び産学官連携の推進)
- 公営住宅のリニューアル及び企業誘致による地域活性化の推進

デジタルの力で社会を変える!

- DX推進(情報共有化による縦割り行政の打破、個人情報の保護の徹底)
- デジタル化(各種申請書類の統合、簡素化を推進、サービスレベルの向上)
- IoTによる省エネ、節電の実現(エネルギー高騰対策)

戸塚の声をカタチに『まちプロジェクト』実施中!

1983年(昭和58年)横浜生まれ、39歳 まちプロジェクトリーダー。衆議院議員山崎誠事務所 元秘書。調剤薬局経営後、サラリーマンを経て、現在は不動産会社社長。横浜市立東台小学校卒業、横浜市立寺尾中学校卒業、星槎国際高等学校卒業・デジタルハリウッド大学院修士課程在学(少子高齢化社会におけるデジタル活用について研究中)。戸塚消防団 第1分団第5班 所属。



公式HP
morita-m.com



立憲民主党 公認候補

森田学

まなぶ

県民の暮らし 最優先の県政へ

いまの県議会は、知事提案に日本共産党以外、「何でも賛成」の県議会、遅れた神奈川県の福祉・暮らしを、「県民の暮らし最優先」に変えます。「大軍拡・大増税ノー」の声を届け、基地県神奈川から平和を発信する県政に変えます。

- 県民本位の県議会へ
- 子どもの医療費は18歳まで完全無料に
- 県独自の給付金制度創設、学費の負担軽減
- 学校給食は無料に。正規の教員の増員
- 新型コロナ対策と医療・保健・障がい福祉体制の強化・拡充
- 国保料、介護保険料の引き下げ
- インボイス制度導入中止、中小企業支援の拡充
- 地震・水害など災害対策の強化
- 気候危機対策、省エネ・再エネ推進
- ジェンダー平等へ選択的夫婦別姓制度の導入
- 核も基地もない平和な神奈川を

党戸塚区県政対策委員長
●略歴/1954年新潟県生まれ。1979年神奈川大学中退。現在、党横浜西南地区委員会常任委員。原水爆禁止戸塚泉区協議会事務局長。

さとう清への一票で 消費税5%減税を大軍拡ストップ!



さとう清

きよし

日本共産党

神奈川県議会議員選挙選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

今は、厳しい時代への対応を最優先に

所得アップは現実的な最重要課題



まず、困っている方に寄り添いたい。
若者からシニア~全世代で実現し、乗り越えたい。

今も将来も両立させる~そのための社会設計を

人口減少や物価高騰への対応、子育て・次世代育成、高齢社会、雇用・経済成長、防災防災、あらゆる改革などは、当たり前に取り組む共通課題です。だから聞こえの良いスローガンよりも「具体的な社会設計」と、その「実践」が大事だと考えます。



★実際に取り組んでいる政策は多岐にわたり、紙面に収まりきれないためホームページ等をご覧ください幸いです。

今回も、「あえて無所属」を選択!



メリットもありますが、もちろんデメリットも大きいです。されど「県議のボーナス増額」に、実際に北井が反対してきたように、多勢に無勢であっても「おかしいことは、おかしい」と忖度なしに主張したいから、今は無所属を選択しています。

覚悟と信念で5期目に挑戦!

ホームページ



◆昭和42年4月2日生まれ、選挙期間中に56歳に。
◆戸塚小学校・戸塚中学校・県立金井高校・関東学院大学を卒業。◆平成15年、36歳で県議員に初当選。◆平成23年、東日本大震災と3期目の選挙の時期が重なり、選挙活動せずに被災地入り。現地での活動に専念し落選。その後足掛け4年、電気工事会社の東北支店に勤務しながら被災地活動を続ける。◆そして戸塚に戻り、平成27年4月に所属政党無しで再選。現在に至る。



北井宏昭

きたいひろあき

わが町 TOTSUKA

私はやる! 神奈川を改革する!

身を切る改革

議員定数削減・議員報酬削減を通じて自らの身を切る改革を断行し、住民の政治に対する信頼を取り戻します。



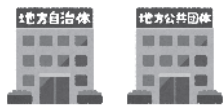
教育無償化

大学院を含む高等教育まで、すべての子どもが所得制限なく無償で通える環境づくりを目指します。



統治機構改革

二重行政を解消し、道州制を見据え広域機能の集権化を図る等、抜本的な統治機構改革を行います。



子育て支援

18歳までの医療費や出産費用の無償化等、子育てにかかる施策には個人負担が生じない仕組みに改めます。



高齢者支援

早期発見・早期支援により健康寿命を延ばし、特別養護老人ホームを整備する等、真に必要な支援を強化します。



地域防災力強化

インフラ整備の老朽化対策、市民利用施設の耐震対策の推進等、地域防災力を高める取り組みを講じます。



プロフィール

- 1959年12月神戸市生まれ
- 兵庫県立長田高等学校
- 同志社大学商学部
- 地方銀行・保険会社など
- サラリーマン生活を25年以上経験
- 国会議員元公設秘書

我々も応援します

日本維新の会 代表

馬場 伸幸

日本維新の会 共同代表

吉村 洋文

参議院議員 前神奈川県知事

松沢 しげふみ

参議院議員

くしだ 誠一

#動物はモノじゃない



黒田ひでお

日本維新の会 公認

自分の声を届けに行こう。

神奈川県議会議員選挙

投票日 令和5年 **4/9** (日) 午前7:00 午後8:00



- 投票日に投票所に行くことができない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。18歳未満のお子様も一緒に投票所に入場することができます。ご家族で投票所にお出かけください。
- 新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養などをされている有権者は、特例郵便等投票が利用できます。
- 選挙管理委員会では、有権者の皆さまが安心して投票できるよう、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施しています。投票所にお越しの際は、来場前及び帰宅後の手洗い、咳エチケット、周囲の方との距離の確保にご協力をお願いします。

詳しくは神奈川県選挙管理委員会の特設ホームページでご確認いただくか、お住まいの市区町村選挙管理委員会にお問い合わせください。

